

## プール開きでのことば（令和3年6月7日）

おはようございます。  
今日は「プール開き」ということで校長先生から大事なお話をします。

プールの学習で皆さんに身に付けてもらいたいことは、水の中ならではの体の動きと水の事故を防ぐ考え方、そして方法です。

特に、2つ目の水の事故を防ぐことについてお話しします。  
それは命を守るお話です。

私たちには生まれた時から1人に一つずつ命が授けられます。  
その命は、途中で他の命と交換することも、誰かからもらったりすることもできないとても大切なものです。  
一度無くしてしまうと決して手に入らないとても大切なものです。

プールでの学習は、とても気持ちがよく楽しいです。校長先生も大好きです。  
特に暑い日には体がちょうどよく冷えて、机でお勉強するのはまた違ってわくわくするものです。

でもプールでの学習は、学校での生活の中で一番、命の危険に近い活動なのです。  
私たちが生きていく上で、ないと困る酸素が水の中には少なく、また水の中の酸素を私たちはお魚のように体に取り入れることができないからです。  
酸素が体に取り入れられないと酸素欠乏症、酸欠という状態になり、人は簡単に命を落としてしまいます。

なので、そのことをよく分かったうえで学習しなければなりません。

皆さんには、プールで先生の話をよく聞いたり、落ち着いた行動をとったりして、自分の命を守ることを強くお願いします。

水の中で慌てたりすると、滑って水の中に潜ってしまって、溺れてしまうことがあります。  
溺れると水を飲んでしまったりして、酸素を体に取り入れることができなくなってしまいます。

また、水の中でお友達の様子が変だなと気付いたときには、すぐに教えほしいということもお願いします。  
友達の命を守るお手伝いをぜひしてください。

もしもの時の場合に備えて、先生たちは訓練を受けてみんなの命を助けられるようにしています。  
でもその訓練の成果を出さなくてもいいのが一番です。

安全に楽しくプール学習ができるようみんなにお願いして、校長先生のお話は終わりにします。